

# 地域の健康を守る！ムスカット薬局と地区薬剤師会における 老年症候群早期発見の取り組み

## 株式会社ムスカット薬局 安倉 央

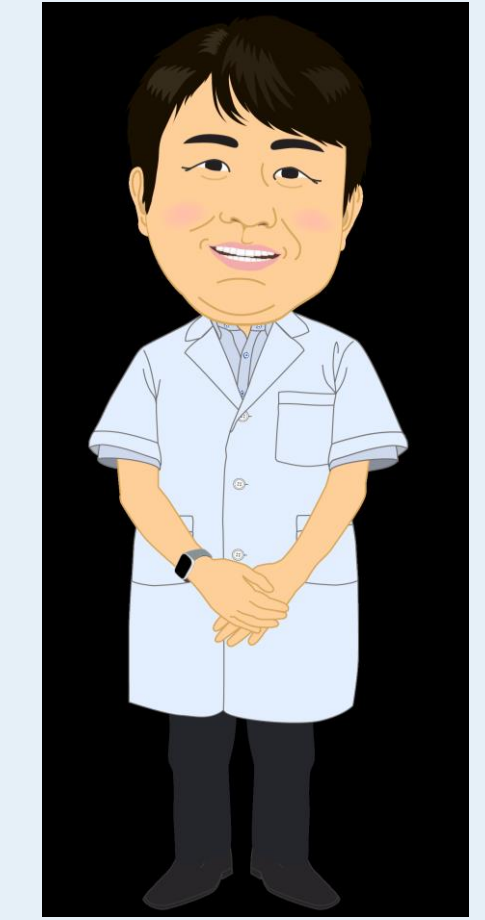


地域活動 Instagram

# P-6

### 目的

ムスカット薬局では、健康サポート薬局の認定を受けた店舗を中心に、薬局内や薬局近隣の公民館や集会所に出張し、認知症やフレイル、骨粗鬆症などいわゆる、「老年症候群」と言われる、疾患の啓発や早期発見、受診勧奨の取り組みを実践している。本演題では、認定を受けた倉敷店と高梁店での健康イベントを紹介する。また、自身が岡山県薬剤師会倉敷支部の理事として行政と会員薬局と地域住民を繋ぐ取り組みを企画し実施している。これらの取り組みについて紹介する。



株式会社ムスカット薬局  
取締役  
【資格】  
・博士(薬学)  
・プライマリ・ケア認定薬剤師  
・認知症予防専門士  
【職務】  
岡山県薬剤師会倉敷支部  
(地域包括ケア担当)

### 方法(ムスカット薬局での取り組み)

#### ★認知症予防専門士による脳活講座

【測定機器】タッチパネル式簡易検査  
鳥取大学医学部薬学上義教授が開発  
もの忘れ相談プログラム(MSP-1100) 日本電気社製

タッチパネル方式の対話方式で、5つのテストを実施  
①言葉の即時再認②日時再認③図形再認④単語再認⑤言葉の再認再発  
検査は不要であり、短時間(約5分)で実施可能

認知症セミナー  
認知症予防について考えよう

ムスカット薬局 倉敷店  
薬剤師・認知症予防専門士  
安倉 央

脳トレ ☆16種類の絵を覚える練習

☆脳トレプリント

運動、体操  
デュアルスクリーン・ウォーキングしながら100歩7歩歩いていく(コミュニケーション)

健康くらしき2.1 健康マップ

認知機能測定

生活実態調査  
受診勧奨・服薬支援

測定結果  
15点中12点※以下  
(認知症疑い)  
↓ ※カットオフ

生活実態調査  
受診勧奨・服薬支援

#### ★口腔ケア推進士による口腔ケアとオーラルフレイルチェック

①口腔機能測定機器:健口くん(オーラルディアドコキネシス測定※)

※5秒間でパ・タ・カを連続で早く発音し、1秒当たり発音回数を計測する測定。  
(パ音は口唇、タ音は舌尖、カ音は奥舌の巧緻性を評価)

年齢	性別	パ	タ	カ
19~34歳	男性	5.8~8.2	6.0~8.8	5.4~8.0
	女性	6.3~8.3	6.5~8.7	5.9~8.1
35~59歳	男性	5.5~7.9	5.4~8.2	5.0~7.6
	女性	5.4~8.0	5.5~8.3	5.1~7.7
60歳以上	男性	4.4~7.2	4.2~7.0	4.0~6.6
	女性	4.2~7.2	4.4~7.2	4.1~6.7

(図表引用: 標準: デイジー・スピアマン、インテリナ出版、東京、2004)



②刺激時唾液分泌量測定:サクソテスト※

※2分間ガーゼを一定の速度で噛み、ガーゼに吸収される唾液の重量(刺激時唾液分泌量)を測定。  
(ガーゼの重量増加が2g以下の場合、唾液量が少ないと判断)  
→ **口腔乾燥が強い場合⇒近隣歯科医院への受診勧奨**

#### ★薬局内での認知症カフェ



『手作り楽器で一緒に音楽を奏しよう』

#### ★健康運動指導士によるシナプソロジー



#### ★フレイル予防講座

フレイル予防には、  
「フレイルサイクルを知ること」  
「自身のフレイルの把握」が重要

指わかっかテスト

イレブンチェック

予防活動の様子

#### ★骨粗鬆症スクリーニング

健康講座

・骨粗鬆症セミナー  
目的:骨粗鬆症の疾患啓発と予防意識向上

・FRAXと骨折評価アンケート

FRAX15%以上 アンケート1つ以上該当

骨粗鬆症 疑い

(未治療者に対し) 薬剤師による受診勧奨

(治療中断者に対し) 薬剤師による受診勧奨

#### 『骨折評価アンケート』

FRAX計算用 椎体骨折評価用

管理栄養士による食事セミナー

骨ウェーブを用いた骨密度測定

### 方法(会員薬局と行政、住民を繋ぐ取り組み)

#### ★会員薬局による出張フレイル講座

講師から学ぶ！  
フレイルの基礎

地域サロン講師派遣

健康づくり教室  
フレイル予防の話

講座の実施

講座申込書作成 協力薬局リスト作成 派遣薬局の調整・決定

上)講座用動画 下)講座スライド

#### ★倉敷市地域包括ケア推進室所属の保健師、栄養士と連携したフレイル予防事業

薬局 倉敷市地域包括ケア推進室フレイル予防実施対応フロー

薬局で発見した「身体的フレイル疑い者」を地域包括ケア推進室へ連絡

保健師と管理栄養士が希望者の自宅訪問(初回、中間、最終支援:3回)

3回訪問結果を、報告薬局へ報告

今後の患者対応に役立てていく

### 結果

- ・1年間※2店舗で計87回の健康イベントを実施した。
- ・薬局利用のない方や他の職種との繋がりが深まった。
- ・受診勧奨基準を設定⇒疾患疑い者を的確に受診勧奨できた。  
※令和5年4月～令和6年3月
- ・会員薬局がフレイル予防講座を23件実施できた。
- ・講座資料は理事で作成し配布⇒同内容の講座を実施できた。
- ・フレイル疑い者を行政へ22件紹介できた。
- ・行政との繋がりのない薬局が紹介事業を行うことで、行政の保健師らと関係作り達成⇒その一翼を担うことができた。

### 考察

- ・「地域の方の健康に関わることの楽しさ」を感じ職員が主体的に健康イベントを実施できるようになったことで社内が活性化してきていると感じている。社内全店が「健康サポート薬局」認定を達成出来るように、サポートを続けていきたい。
- ・地域包括ケアシステム推進のためには、特定の薬局だけが健康に関わる取り組みをしていくのでは意味がない。1件でも多くの薬局が参画できるよう、担当理事として趣向を凝らしたイベントを企画していきたいと考えている。

開示すべき利益相反(COI)はありません